

平成 26 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	10	05	05	0403	宮沢賢治記念館整備事業	
総合計画	分野	人づくり				
	政策	3-5	芸術文化の振興			
	施策	2	先人の顕彰			
目的	賢治さんの香りあふれるまちづくり					
対象	市民、観光客					
意図	賢治および賢治のまち花巻の魅力を感じてもらう					
事業概要						
○宮沢賢治記念館リニューアル 宮沢賢治記念館展示改修工事・展示監修						
市民参画の有無 [対象外]						
市民協働の形態		共催 後援・協賛	実行委員会・協議会 補助・助成	○事業協力・協定 委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
① 賢治記念館整備事業実施件数	件		計画		1	
			実績		1	
②			計画			
			実績			
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
①			目標			
			実績			
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり		目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
/		
目的妥当性	公共関与の妥当性	宮沢賢治記念館は市の施設であり、市で整備を行うことが妥当である。
	<input type="radio"/> 妥当である	
	見直し余地がある <input type="radio"/> 妥当でない	
有効性	成果の向上余地	宮沢賢治記念館の展示リニューアル整備を行うことによって、入館者が増加するとともに、賢治の作品や考え方に触れる機会が増加する等成果の向上の余地がある。
	<input type="radio"/> 向上余地がある	
	向上余地がない <input type="radio"/>	
効率性	事業費・人件費の削減余地	効率的な設計により事業費のコスト削減が図られるとともに、宮沢賢治記念会、宮沢賢治学会イーハトーブセンターの展示協力により人件費の削減が図られた。
	事業費の削減余地がある 人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	宮沢賢治記念館の整備により、市民や観光客にとって花巻の魅力が向上するため、受益機会と費用負担について公平であると考えられる。
	受益機会の見直し余地がある 費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である	
総合評価		
<p>宮沢賢治記念館は、「賢治さんを知る」をコンセプトとする施設であり、最新の研究成果を反映するとともに、現代的な展示手法により、より宮沢賢治記念館の魅力を増すよう展示をリニューアルした。</p> <p>常設展示室に加え、賢治研究の成果等を紹介する特別展示室を新たに整備。今後、様々な企画展を開催する予定である。</p> <p>加えて、館内トイレを改修し、利用環境面の向上を図った。</p>		

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	10	05	05	0403	宮沢賢治記念館整備事業

単位：千円

		25年度 決算額(A)	26年度 決算額(B)	27年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費			176,395		176,395
財源 内訳	国・県				
	地方債				
	その他				
	一般財源		176,395		176,395

事業期間	単年度繰返	<input type="radio"/> 期間限定	[平成 25 年度 ~ 平成 28 年度]
------	-------	----------------------------	-----------------------

部経営方針における目標
文化の香り高いまちをつくります。

事業開始の背景・経緯
花巻市の強みである宮沢賢治を活かしたまちづくりを推進するため、各課でそれぞれ行っていた宮沢賢治関連事業を、平成24年度から「賢治のまちづくり推進事業」として位置づけ、統一した事業目的のもとに実施することとした。平成26年度からは、人づくり、イベント、景観、情報発信の4分野に分けた事業として事務事業評価との連動を図ることとした。

事業概要
 宮沢賢治記念館リニューアル
宮沢賢治記念館展示改修工事・展示監修

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等
・QRコードを利用した中国語・韓国語の展示翻訳サービスの構築を進める。
・所蔵する原稿類の適正な管理方法について検討を進める。

《事業手法の詳細》

○ 事業実施の背景

宮沢賢治記念館の現状

- ・ 展示に最新の研究の成果が反映されていない。
- ・ 映像コンテンツが現代的ではない。
- ・ 展示物の老朽化が進んでいる。

賢治胡四王の森整備事業

宮沢賢治記念館等賢治関連施設及びその周辺を「賢治胡四王の森」と位置づけ、整備。



宮沢賢治記念館展示リニューアル 176,395千円

【事業概要】

- 工事
 - ・ 展示改修工事 144,276 千円
 - ・ トイレ改修工事 20,839 千円
 - ・ 床改修工事 2,160 千円
- 業務委託
 - ・ リニューアル検討業務 1,934 千円
 - ・ トイレ改修設計 886 千円
 - ・ 展示翻訳 2,484 千円
 - ・ 特別企画展展示 1,998 千円
- 謝礼・旅費
 - ・ 監修者・アドバイザー 1,820 千円